



キャンパスの思い出
金榮 昭夫 (昭和33年卒)



巻頭リレーエッセイ

常に行動し、常にポジティブに考える。

現在コロナウイルスの影響で様々な場所で例年と違う動きが取られている。
このような状況に置かれた時どのように考え、行動するかで未来は変わって
くると感じる。

「私の世代は運が悪い」と悲観し、何もしないという行動は勿体ない。
それならば、「級友と会うまで就活の情報収集や、試験・資格の勉強を頑張り
う!」「例年より時間があるから自分のペースで勉強が出来る」とポジティブに
捉える方が有益である。

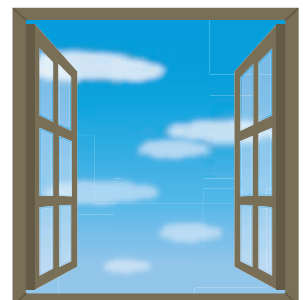
現役生の皆様。

誇り高く、由緒正しい商大に入ったのだから、入学するまでの苦労や合格した時
の喜びを思い出してもう一踏ん張り頑張っ

OBの方達は幾多の困難、苦労を成功に変えている。

皆で明るい北海道を築き上げよう。

岡 田 晃
(平成 23 年卒)



穏やかな日々が 戻ることを願って

緑丘会札幌支部
支部長

山 田 二 郎
(昭和45年卒)



会員の皆様には新型コロナウイルス疫災のさなか、お変わりなくお過ごしのことと存じ上げます。「人類とウィルスとは長い闘いの歴史がある。今回も間違いなく人類は勝利するが多くの犠牲を払うであろう」と著名な科学者が言っています。この会報がお手元に届くころには100%とは言えないまでもコロナ騒ぎが一段落し穏やかな日々が戻っていますようにと願いつつこの原稿を書いています。

大変残念ではありますが7月4日に予定されていた「緑丘会札幌支部年次大会」は中止することといたしました。開催に向けお忙しい中を準備にご尽力を頂きました皆様にはこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。来年の2月「新年交礼会」まで会員の皆様との集まりはお預けとなりますが、油断することなくお過ごし下さい。

さて、全国の大学の学生さんたちがアルバイトの激減やそれぞれの家庭事情等で学生生活そのものの存続が不安定になっているとの声が多々報告されております。我が母校においてもこの4月から新穴沢学長リーダーシップの下、新しい体制でのスタートでしたが入学式も中止となり、5月7日からオンライン授業で新学期が始まることになっております。

新入生はもとより来春社会人となる4年生のこの1年間はどうなるのか?不安な日々が続いていると思います。現役の学生さんたちが安心して勉学に励み、サークル活動等を含めて充実した学生生活・時間が保証できなければ大学の存在意義は失われてしまいます。こんな時こそ緑丘会は総力を結集して母校の応援・支援に立ち上がらなければならないと思います。

5月7日にウェブ会議システムを活用して本部役員(東京・小樽・札幌)と学長との意見交換会が行われます。札幌支部としても会員の皆様には後日この結果等を基に情報共有を行い、現役学生への必要とされる支援活動を行っていただけるよう協力していきたいと考えております。ホームページ等で報告・相談させていただきますので、皆様のより一層のお力添えを何卒よろしくお願い申し上げます。

この札幌の地も正に油断大敵ではありませんが第2波が起こり今なお不安な毎日・不自由な日々が続いております。大変な激務でこの混乱を必死に支えて下さっている医療関係者の皆様に心から敬意を表して筆をおきます。皆様にはくれぐれもご自愛のほどお祈り申し上げます。

(2020年5月5日 記)



あれ!? 期待以上。

リーフレットやパンフレット、
記念誌の作成もご相談ください。
岩橋印刷が力になります。

豊富な経験と実績で、「こんなものをつくりたい」をカタチにするための確かなご提案をさせていただきます。お気軽にご用命ください。

会社案内

広報誌

ポスター

パッケージ

封筒

伝票

ホームページ

電子書籍

大型広告



岩橋印刷株式会社

<http://www.iwahashi-printing.co.jp/>

本社/〒063-8580 札幌市西区西町南18丁目1番34号 TEL.011-669-2500 FAX.011-669-2600

東京営業所/〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町8番2号 BIZ MARKS日本橋茅場町504

TEL.03-6403-4495 FAX.03-6869-3886



学長に就任して

小樽商科大学長
穴 沢 眞



本年4月より和田前学長の後を受け、学長となりました穴沢眞です。私は平成元年に小樽商科大学に講師として赴任し、その後、助教授、教授となりました。学部では貿易論、大学院では国際経営関連の授業を担当していました。これまで学内では主に国際交流や地域研究の分野の仕事をすることが多く、国際交流センター長、国際連携本部長などを務めました。また、地域経済研究部の前身となる地域研究会の代表を務めた際には「グローバルizmと地域経済」をテーマに道内経済の研究や創立100周年の国際シンポジウムなどを担当しました。

副学長を経験せずに学長となったため、日々勉強の毎日です。就任前は令和4年4月の小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学の三大学の経営統合が最大の課題でした。その準備を進めていた矢先、新型コロナウイルスの感染拡大により、今はその対策に集中せざるを得ない状況です。本学でも授業開始を5月7日とし、当分の間、遠隔（オンライン）授業となります。本学にとっても初めての試みであり、遠隔授業にあたっての学生の受信環境や教員の授業準備のサポート体制を強化しています。

また、学生の中にはアルバイトがなくなり、生活に困窮する学生もいます。大学として学生の生活と学修環境の維持を最優先に考えて、様々な支援を行うつもりです。政府も大学生の支援を拡充していますが、どうしても時間がかかります。大学としての支援も準備が整い次第行いますが、学内の予算だけでは十分な支援をすることができません。緑丘会の皆様方にも在学生の支援にご協力頂きますよう、よろしくお願い致します。

今回のコロナウイルス禍により、大学の様々な活動が制約を受けています。特に本学の掲げるグローバル人材の育成に関連する国際交流事業が短期的に滞る可能性があります。佐野力奨励金による学生の3週間から1か月の語学研修も夏休みの派遣は中止となります。後援会から支援を頂いている協定大学への長期の交換留学も状況を見ながら進めますが、例年のような派遣は難しくなると思われます。長期的にみても、これまでの学生の派遣と受け入れを中心とした国際交流を見直す契機となると思われます。世界中での遠隔授業の拡大は海外留学の在り方や意義を変えつつあります。本学も学生の派遣と受け入れにプラスして、遠隔教育を取り入れた、より多様なグローバル人材の育成方法を開発しなければなりません。

三大学の経営統合は残り2年を切り、詰めの作業に入っていきます。北海道経済・産業の発展と国際社会の繁栄に貢献するために三大学の教育研究機能を強化するというミッションを実現するため、解決すべき課題もありますが、着実に歩を進めていきたいと思っています。

コロナウイルス禍が収束してもこれまでと同じ生活がすぐに戻るとはいえませんが、緑丘会の皆様と直接お目にかかり、お話ができる日が一日も早く来ることを願っています。

「丘美会」22回展で閉幕す

鈴木市男
(昭和32年卒)

「丘美会」は昭和29年に中野年、守分寿男、山岸壽朗らが中心となり、それに鈴木市男、高野明弘、尾形圭介らが加わり、学内顧問に松尾正路教授、学外の顧問に国松登画伯にお願いし発足した。第1回展は当時の大國屋デパートで開催したが、数年で本会も閉会となった。

その後平成10年に23名の有志が集い、復活第1回展を札幌、小樽会場で開催した。第5回展からは東京展を池袋サンシャインビルの緑丘会事務所ホールでも開催、会員も30名になった。その後小樽、東京展については縮小し札幌展のみの開催となった。

毎年6月に札幌の大通美術館が恒例となった。多くの同窓の方々が来場され鑑賞された。その間画集も第5回展、第10回展に発行、母校の創立100周年には、記念文集「私と絵画と小樽」を出版した。

しかし、その後会員の高齢化にともない会員の減少により、昨年度はついに7名の出展となった。復活して22年、誠に残念ではありますが、今回をもって丘美会を閉会することにしたのです。最後に中野会長からご挨拶申し上げます。

中野年
(昭和31年卒)

「丘美会」が閉会になります。同窓の皆様をはじめ多くの方々のご支援ありがとうございました。

商大時代に故守分寿男君、故山岸壽朗君と共に創った青春の思い出の「丘美会」が終わることになり、青春がより遠くなったことを痛感しています。

この「丘美会」とは別に、東京にも「丘美会」がありました。昭和31年卒の同期で絵の会をつくり「丘美会」と名付け、グループ展を数年開催したが、やはり年齢で展覧会はできなくなり、今は同期の懇親会として「丘美会」を続けています。



再開第5回記念東京展（緑丘会本部）に勢揃いした会員



2019丘美会展 最後の7名

ー他支部だよりー

静岡支部の紹介

緑丘会静岡支部

長 船 知 行

(平成6年卒)

静岡支部幹事の長船です。静岡支部の紹介をいたします。

静岡支部は総勢で約50名、年に一度、総会・懇親会を行い交流しております。会員は、静岡県出身で学生時代を小樽で過ごし、就職時や退職後に地元の静岡に戻ってきた方、就職後の転勤等で静岡勤務となった方、の二通りの方が主となります。

ただ、高齢化や固定化が進んでおり、会員の7割ほどが60代以上、近年では総会出席者も10名前後といった感じです。

このままでは年々先細り…の不安はありますが、でも!! 総会に出席する方は皆、小樽愛、北海道愛にあふれた方たちばかりで、小樽で学生生活を過ごしたという強い想いやプライドがあり、その事が今の人生にも反映していることが強く感じられます。

昨年5月の総会時には、丁度NHK朝の連続ドラマで北海道を舞台とした「なつぞら」が放送されていたこともあり、ヒロインの広瀬すずさんが静岡市出身であることや、舞台となった十勝地方が静岡からの入植者が開拓してきたという歴史があることな

ど、北海道への熱い想いで大いに盛り上がりしました。

また、話は変わりますが、私はお茶処の静岡で日本茶インストラクターとして日本茶の普及活動しております。札幌を中心とした北海道でも日本茶インストラクターの方たちが熱心に活動をしておりまして、例えば「北の茶縁日和」というイベント(昨年は9月に北海道神宮頓宮で行われました)で静岡のお茶屋さんが出展したり、静岡の茶農家から北海道までお茶の生葉を取り寄せたり、静岡とのつながりがあります。私もいつか、静岡茶を引っ提げて、札幌まで静岡茶を淹れに行きますね。

今は、富士山静岡空港と千歳や丘珠とを結ぶ直行便があり、アクセスしやすい環境となっております。今後も変わらず会員相互の交流や小樽・札幌との交流を行い、盛り上げていきたいと思っております。

札幌支部の皆さまも静岡へ是非お越し下さい。お待ちしております。

(写真は2枚とも昨年の総会・懇親会で撮影)



おたる写真展 ～曖昧さと人と～

石川 朋 佳 ・ 菅 野 も か
(小樽商科大学3年)

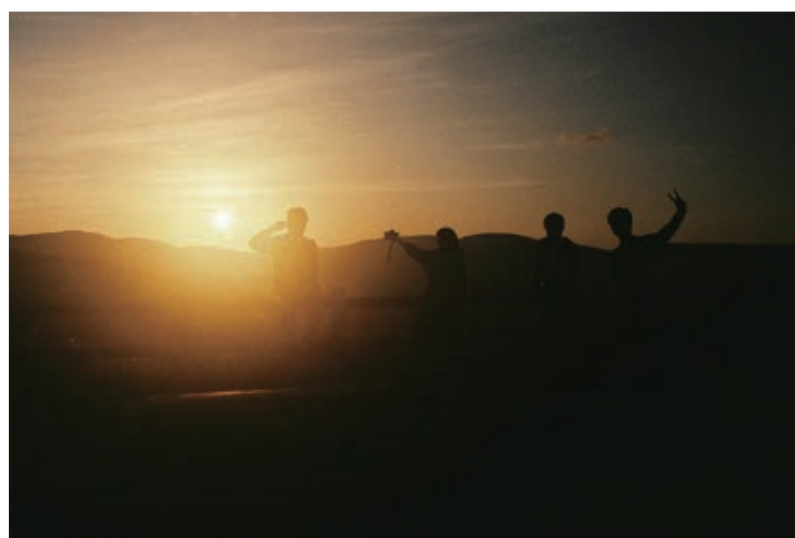
こんにちは！ 小樽商科大学3年生、
石川朋佳と菅野もかと申します。小樽
と私達を題材とした写真展を開催する
にあたって、寄稿させて頂くこととな
りました。



■写真展を開きます

私達は旅行と写真を撮ることが好きな現役の商大生で
す。小樽で私達が大切な人達と過ごす日々を形にした
いと考え、写真展を計画しています。

第一回目は今年の8月26日～30日に「小樽市民ギャラ
リー」にて開催の予定です。万全な状態で開催したい
と考えておりますので、延期になる可能性もあります。
詳細は追ってご連絡いたします。



6ページ

右上： 私たち2人
左： 桜の地獄坂
右下： 毛無山展望台の夕日

7ページ

右： 鯉御殿
左： 大学からの帰り道
おたる屋台村レンガ横丁

■なぜ写真展をしようと思ったのか

きっかけは小樽在住の小説家、三浦群来さんの小樽を舞台にした小説「Invitation」を読んだからです。自分たちも気が付かない小樽の魅力と、群来さんの強い想いが詰め込まれている一冊です。小樽で出会った人、港町の美しい四季、商大に通っている貴重な時間と、心が動かされた感動を「形にしたい」と考えた結果「小樽の想いを詰め込んだ写真展」を開催することへとつながりました。

■昔懐かしフィルムカメラにこだわります

今回は「フィルム写真」のみの展示です。ファインダーを覗き、ピントを合わせ一枚一枚丁寧に、愛おしい瞬間を、空気までも切りとることができるのがフィルム写真であると思っています。私たちが感じた、日常の延長のありのままの世界を展示する予定です。皆様が写真を見て、それぞれの小樽愛を感じていただければ嬉しいです。



■最後に

この場を借りて、2月の新年交礼会での感謝とお礼を申し上げます。たくさんの応援とご支援を本当にありがとうございました。拙いスピーチではあったと思いますが、話を聞き領いてくださる様子を見て、私達の思いが届いたのだと心が暖かくなりました。貴重な経験と機会を頂きまして、深く感謝いたします。これからも応援して頂けたら幸いです。

☐ 特設Facebookページが
できあがりました！

私たちが投稿していきます
ぜひご覧ください

おたる写真展～曖昧さと人と～

検索

☐ Invitation全3巻販売しております

- ・ Invitation ¥1,000
- ・ Invitation2 ¥1,300
- ・ Invitation3 ¥1,000

本の販売収益は写真展の経費に充てさせていただきます。
お問い合わせや写真展のご質問などはこちらまで。アイデアなどもお待ちしております。

✉ otarusyashin@gmail.com

グリークラブとともに過ごした学生生活

久保田 優
(平成8年卒)

私がグリークラブと出会ったのは、入学手続きで商大を訪問した時でした。

私は東京出身で北海道には知人もおらず、北海道に魅せられたという理由だけで小樽商大を受験しました。小樽には数えるほどしか来たことがなかったもので、その時は不安と期待が入り混じっていた気持ちであったと記憶しています。入学手続きを終えると、サークルや部活が2, 3団体待ち構えていて勧誘を受けることになりました。その中で最後に声をかけていただいたのがグリークラブです。

「これからご飯でも行かないか？」

そんな感じだったと思います。受験勉強から解放されたことと、もともと人と接することは好きなほうだったので、即答で承諾しました。しかし、その時はグリークラブが何の集まりかも知りませんでした。

その後も何度か集まりに参加させていただくことになり、「ところでグリークラブって何をしている団体ですか。」と聞いて初めて男声合唱団ということを教えてもらいました。歌をうたうということにこれまで全く関心がなかったので少し悩みましたが、あまりにも居心地の良い皆さんであったので、入団してみることに決めました。

それから始まる学校生活は、いつもグリークラブとともにありました。練習以外の時間も同期・

先輩後輩と一緒にいることがほとんどで、音楽の話、学校生活のアドバイスなど、いろいろなことを教えていただいたり、朝まで飲んで語りあったりしたものでした。

大学を卒業すると、合唱を続けていく人と合唱から離れていく人とは分かれていきますが、私は合唱から少し離れた生活を送っていました。

そんなある時、グリークラブOBの大先輩から連絡があり、創部90周年記念演奏会に出てほしいという要請を受けました。在学中から「先輩からの命令は絶対である」という教えを叩きこまれていたので、大先輩からの参加要請に応諾し、以降グリークラブOB会にも積極的に参加するようになっていきました。

現役の時には、グリークラブがこれだけ歴史あるものであるということあまり自覚していませんでしたが、現役当時で75年、今年で100年という年月を続けてきたということの重みは、OB会に参加するようになり諸先輩方と毎月お会いするようになってから初めて実感できるようになったと思います。現在計画中の創部100周年を記念する演奏会は残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で11月開催が明年に延期となってしまいましたが、私もグリークラブの歴史を築いてきた一員として、この記念演奏会を成功させられるよう頑張っていきたいと思います。

グリークラブ創部100周年記念OB演奏会について

今年11月に開催する予定でした演奏会を以下の日程で、延期をします。

○札幌演奏会 開催日：令和3年11月21日(日) 札幌教育文化会館(予定)

○小樽演奏会 開催日：令和3年11月27日(土) 小樽マリンホール(予定)

*100周年記念演奏会はご来場の皆様の安全を第一に多くのグリー OBが元気で参加できるような演奏会として開催する予定です。

小樽商科大学グリークラブ創部100周年記念演奏会実行委員会

緑丘会札幌支部とは？

緑丘会札幌支部は、札幌圏にいる商大卒業生の交流・親睦が目的で設立され、事務局は札幌駅西口「sapporo55ビル」3階・小樽商科大学札幌サテライト内にあります。緑丘会札幌支部とはどんな組織なのか、ご紹介いたします。

会員数2,000名以上!!

緑丘会札幌支部は札幌市内・近郊を中心に約2,000名が所属し、同窓生同士や商大本校・現役学生との情報交換や親睦を図り、各種行事やセミナー・講演会などを開催しています。ゴルフ・囲碁・ランニング等のサークルもあります。※詳しくは次ページでご紹介

イベント盛りだくさん!!

新年交礼会(2月)・年次大会(7月)など、どなたでも参加できる行事のほか、ビジネス交流会や、同窓生の講師をお招きする緑丘サテライトセミナーなどのいわゆる「勉強系」のイベントも定期的で開催しています。

また、他支部(仙台・東京など)で開催されるイベントにももちろん参加できます。近年は、平成20年以降に卒業された方の参加が増えており、若手同士の交流も活発です。

ホームページ・SNSも積極活用!!

札幌支部からの情報は、年2回、会報誌「緑丘さっぽろ」(本誌のことです)を発行し、会員の皆さんにお送りしています。

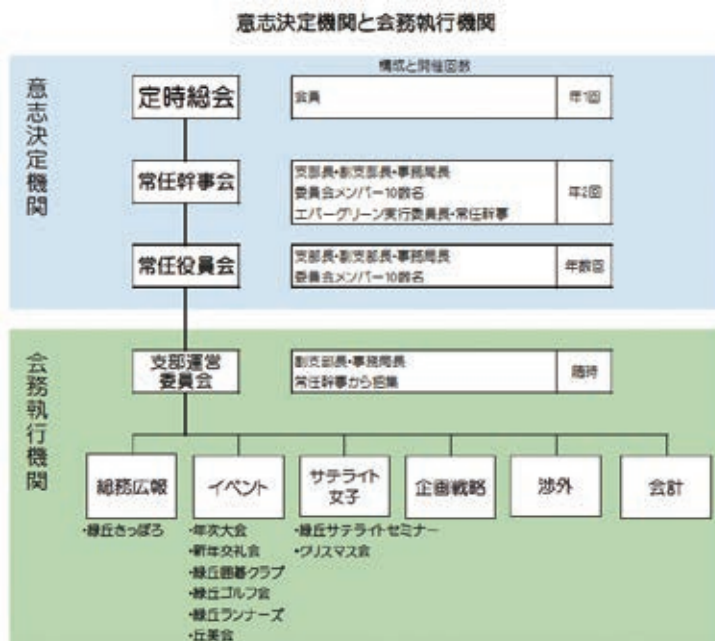
また、ホームページやSNSなどの活用も積極的に行なっていきます。ホームページでは、同窓生の活躍の様子や最新ニュース、各行事のお知らせや開催報告など、さまざまな情報を掲載しています。Facebook(フェイスブック)でも、さまざまな情報をご覧いただけます。アカウントをお持ちの方はぜひ「いいね!」をお願いします。

<http://www.facebook.com/小樽商科大学緑丘会札幌支部/>で検索してください。

会費のお支払いをお願いします!!

活動にはどなたでも参加できますが、ご賛同いただける方はぜひご入会をお願いいたします。支部会費は「年額3,000円」で、まとめ払いによるお得な割引制度もごございます。連絡先は12ページにてご確認ください。

札幌支部は会員の皆様の会費によって運営されています。ご協力よろしくお願いいたします。



札幌支部メール



ホームページ



Facebookページ

活動紹介

札幌支部では一年を通し、様々な行事・活動を行っています。会員の親睦だけではなく、同窓の繋がりを活かした人脈作りや情報交換、学びの機会もあります。小樽商大の卒業生・学生はどなたでも参加することができます。



新年交礼会 (2月中旬)



年次大会〈総会・懇親会〉 (7月上旬)



ビジネス交流会 (年3~4回 平日夜)



緑丘サテライトセミナー (年2回 土曜午前)



講演会 (不定期)



クリスマス会 (12月)

セミナーや講演会は、同窓の方を講師にお迎えします。より気軽に参加できるよう平日夜に開催するワンコインセミナーも企画検討中です。他にもゴルフ(年4回)、囲碁(年5~6回)、ランニング(おたる運河ロードレース等に参加)などのサークル活動もあります。今年2月末より実施を見合わせておりますが、再開できる時が来ましたら、ぜひともご参加ください。

今年度のMBA会の活動について

須 川 正 啓

(平成18年商学部卒、平成26年OBS修了)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度のMBA会の活動について以下の通りといたします。

- ① MBA会の活動について「原則1年間の休止」とする。
- ② 定例行事 (5月の総会・7月のビール会・9月の交流会) は中止とする。
- ③ 定期的に開催していた役員会についても当面の間、実施しない。
- ④ 役員会の再開の時期については、コロナウイルス関連対策について、国および道の公式発表などに準じて考慮する。目安が必要と思われるので、本年9月末日までは役員会活動を完全に休止し静観する期間とする。
- ⑤ 役員人事については「休止期間」ということを鑑みると、

任期満了につき役員を交代することも「休止」と考えるのが相当と思われるため、現役員をそのまま継続する。新体制は令和3年度からのスタートとする。

- ⑥ MBA会活動は休止するが、緑丘会札幌支部への支払い、および来年以降 (20周年行事へのプール分も含む) の行事再開のために会費徴収は実施する。

まことに残念ではありますが、役員会で協議の結果、以上の通り決まりましたので、ここで皆様にご連絡とさせていただきます。

今後の活動再開及び会費徴収等につきまして、皆様ご協力いただけますよう、心よりお願いいたします。

令和2年度総合定期戦・対面式についてのお知らせ

小樽商科大学応援団 第106代団長
吉 野 あおい

現在、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るっています。4月には日本全国に緊急事態宣言が発令され、感染終息の目途は立っておりません。

この様な状況を鑑み、例年6月下旬から7月上旬に開催している北海道大学との対面式を延期とすることと致しました。今後の日程につきましては、北海道大学応援団と連携し、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めて決

定致します。

末筆ではございますが、平素より商大応援団を温かく見守って頂きありがとうございます。このような状況だからこそ、応援団が商大生に対してできることは何かを考え、活動していきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

事務局に新しいメンバーが加わりました

4月より札幌支部事務局でお手伝いをさせていただいております、平成8年卒・徳橋由希子です。

在学中はあまり熱心な学生ではなかったのですが…微力ながら緑丘会の活動に協力させていただければと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(写真) かのY先輩会長であった相撲研究会の(ほとんど働かない) マネージャーでした (笑)



年次大会中止のお知らせ

今年7月4日に予定しておりました年次大会は、新型コロナウイルスによる先が見えない状況を鑑み、総会、懇親会ともに開催を中止とすることにいたしました。

今後につきましては、決まり次第、支部ホームページ等でお知らせしてまいります。

何卒ご理解ご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

10月に予定されていた昭和45年卒業50周年記念同期会は無期延期、6月の1980年卒業40周年記念同期会は中止となりました。

支部会費の口座振替が始まります

令和2年度の引き落としは7月6日(月) となりますので、よろしくお願いいたします。

口座振替の手続きは随時受け付けております。書類に記入し、支部宛に返送するだけで完了します。

これからのお申込は次年度からの開始となりますが、ぜひご検討ください。

お問合せ、お申込は支部事務局までご連絡をお願いいたします。

亡くなられた会員の皆様

(2019年11月～2020年5月受付)

卒業年	氏 名	ご逝去日
昭和18年	品 田 幸 雄	2019年7月24日
昭和23年	西 倉 寿 雄	2019年10月
昭和25年	山 田 勝 則	2020年2月16日
昭和29年	戸 田 耕 輔	2019年6月3日
昭和31年	近 藤 英 彦	2020年4月11日
昭和33年	森 田 文 夫	2019年12月10日
昭和34年	大 木 克 夫	2020年2月15日
昭和34年	遠 藤 眞 吾	2020年3月8日
昭和36年	加 藤 晴 美	2019年5月1日
昭和36年	佐久間 徹	2019年10月15日
昭和41年	宮 腰 弘 嗣	2020年4月19日
昭和41年(短)	山 田 文 雄	2020年4月3日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

編 集 後 記

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、緑丘会札幌支部は、令和2年度「年次大会」の開催中止を決めました。

母校でも、卒業式・入学式・授業の中止と、前代未聞の状況です。

オリンピック・パラリンピックの延期、高校野球の中止・大相撲夏場所の中止、など多くの催しが中止や延期になっています。

新型コロナウイルスは、ゴールデンウィーク後の現在、世界で感染者数340万人を上回り死者数は24万2千人に上っています。また、ロシア極東での大量の感染者が発生するなどパンデミックな広がりを呈しています。

日本でも緊急事態宣言を更に1か月程度の延長が決定される中での「年次大会中止」の決定には、役員をはじめ多くの同窓の方たちから落胆の声を聞きながらも「仕方ない」「来年こそは開催を」との声が上がっていました。今は、一丸となって立ち向かわねばなりません。「頑張ろう!」。

広報部会長 畑山 邦彦(昭和53年卒)

緑丘会札幌支部

電話／FAX：011-231-6900

ホームページ <http://www.ryokyukai.com/>

メール：ryokyukai@galaxy.ocn.ne.jp